

地域ポイントシステム普及啓発活動等業務 公募型プロポーザル 質問回答書

令和7年6月18日回答

No.	項目	質問事項	回答
1	仕様書 3. 業務内容(1)	・ワークショップ開催の周知として、プレゼンテーションを行うこととありますが、回数は何回でしょうか。	・1～2回程度を想定しています。
2		・地域づくり協議会及び公民館長向けのプレゼンテーションは、効率化を考慮し同日での実施を想定しているが、貴市のご支援をいただくことは可能か。	・可能です。但し、日程調整した結果、同日実施ができない可能性も考慮されてください。
3		・プレゼンテーションの開催時期、所要時間の目安、開催場所は決まっているのか。	・所要時間については、30分程度を想定しています。 (説明:10分程度、質疑:20分程度) その他は決まっていません。
4	仕様書 3. 業務内容(2)	・ワークショップの参加者数はどのくらいを想定したらよろしいでしょうか。	・20～30名程度を想定しています。
5		・ワークショップの開催時期、所要時間の目安、開催場所は決まっているのか。	・開催時期は、契約後～10月末までの期間を想定しています。その他は決まっていません。
6	仕様書 3. 業務内容(3)	・「ワークショップの結果をまとめ、地域ポイント付与及び使用内容の提案を行うこと」とありますが、地域ポイントは今現在どのようなことに使うことができるのでしょうか。また、使用内容の提案とありますが、受託者がポイントとの使用先を準備する必要があるのでしょうか。	・今現在、地域活動における地域ポイントはありません。よって、使うことはできません。 ポイントの使用については、ワークショップ後に提案をいただいた後、本市との調整となりますが、物であれば調達していただく、市施設を使用した体験等であれば、市で使用先を準備することを想定しています。
7		・「ポイント使用については、本市と調整後用意すること」の表記について、「地域ポイント使用内容については、提案を行う前に貴市と事前に調整をする」という認識で良いか。	・プロポーザル企画提案前に調整するのではなく、ワークショップの結果を受けて調整することとしています。 ポイント使用の額としては限度額の1/10程度を想定しています。
8		・別調達である「豊前市公式LINE地域ポイントシステム等構築業務」の実証実験の内容を踏まえて、地域ポイント使用方法の提案を実施する必要があるのか。ある場合、実証実験の内容を共有いただくことは可能か。	・必要ありません。 但し、事業者選定後、業務進行において、実証実験の情報共有は都度行う予定です。
9	仕様書 3. 業務内容(4)	・総会やイベント参加者数はどのくらいを想定したらよろしいでしょうか。	・総会やイベントの規模及び内容によって変わるため、5～100名程度を想定しています。 浅く広くおこなうか、深く狭くおこなうかは、提案者の創意工夫での提案をお願いいたします。
10		・啓発活動の開催時期は、いつ頃を想定されているのか。	・開催時期は、12月～3月を想定しています。
11	仕様書 3. 業務内容(5)	・(ア)ホームページの作成支援の具体的な内容についてご教えてください。ホームページ掲載用の原稿作成と理解してよろしいでしょうか。(ホームページそのものの作成は業務外との認識です)	・お見込みの通りです。
12		・(イ)チラシ等の作成について、それぞれの仕様(大きさ、紙質、部数)の指定があればご教えてください。特に、部数についてご指定があればご教えてください。	・仕様及び枚数の指定はございません。 今年度は2校区での実証実験を想定していますので、その規模に合った提案をお願いいたします。 ※参考:1校区(500～4,000人程度の規模)
13		・販促物の用意ができたあと、市民への配布・店舗へのアナウンス等は、市側で実施いただく認識でよいのか。	・お見込みの通りです。